

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/05/13号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## 70ドル台後半、地政学リスクから需給主導へ

NY原油先物相場は、1バレル=70ドル台後半で揉み合う展開になった。5月8日の76.89ドルまで値下がりした後、10日には一時79.96ドルまで切り返したが、78ドル台前半で週末を迎えている。中東地政学リスクの不服感を背景に、週前半は調整売りが優勢の展開になった。イスラエルとハマスの休戦協議は最終的に決裂したが、原油市場では地政学リスク主導の売買が見送られ始めている。こうした中、需給ひっ迫見通しを背景に押し目買いを入れる動きが優勢になったが、80ドル回復を前に失速し、結果的にボックス気味の相場展開になった。

イスラエルとハマスの休戦協議は、ハマスが休戦案を受け入れたがイスラエルが拒否した。ハマスは恒久的な停戦を求めているのに対して、イスラエルは一時的な休戦に留めるべきと考えている模様だ。ただし、双方が協議の継続を示唆していることもあり、改めて地政学リスクのプレミアムを相場に加算していくような動きは見られなかった。地政学リスクに対する関心そのものが低下し始めている。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (5月3日時点) は、原油が前週136万バレル減、ガソリンが92万バレル増、石油精製品が56万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 改めて下値を固める局面、需給の引き締め見通しを織り込む

地政学リスクから需給見通しにマーケットの関心がシフトし始める中、下値を固める展開になろう。地政学リスクのプレミアム剥落の動きが徐々に鈍化し、需給の引き締め見通しを背景に押し目買いが入り始める見通し。70ドル台後半での値固めを打診する中、80ドル台回復の可能性も高まろう。

週末12日にイラクが石油輸出国機構（OPEC）プラスの減産延長に同意しないと表明したことで、週前半は調整売りが膨らみやすくなる。OPECプラスは7月以降も減産継続が想定されているだけに、失望売りが広がる可能性がある。ただし、自主減産は仮にイラクが離脱しても継続される可能性が高く、原油相場の値崩れを促すまでのインパクトは想定する必要性が乏しい。6月1日のOPECプラス会合までは時間があり、急落局面があると物色妙味が高まろう。

マーケットの関心が地政学リスクから需給見通しにシフトする中、5月14日の石油輸出国機構（OPEC）月報、15日の国際エネルギー機関（IEA）月報の重要度が高まる。楽観的な需要見通し、需給引き締め見通しなどが示されると、買い安心感が強まろう。また、在庫統計に対する関心も高まりやすくなっているため、15日発表の米原油在庫が2週連続の減少になった際にも、買いが膨らみやすい。

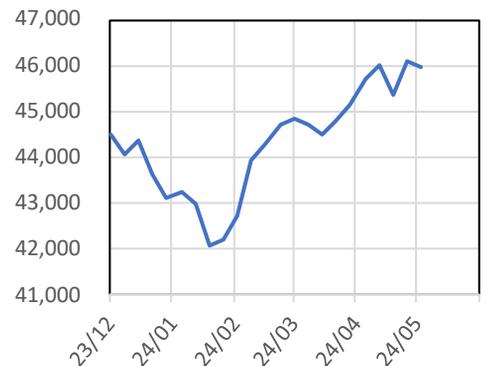
5月15日には4月米消費者物価指数が発表される。米金融政策見通しへの影響が大きいいため、株価やドル相場の反応に注目したい。また、17日には中国の4月経済指標の発表が集中する。中国経済に対する楽観的な見通しが維持されるかにも注意が必要だ。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



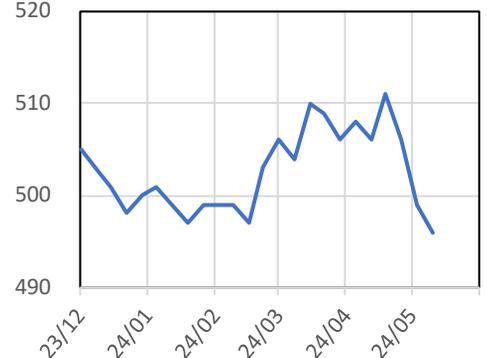
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

